別紙 各被告方法に関する主張整理表

被告方法（1-1）

構成	原告の主張	被告主張
(a)	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリ若しくはブラウザが動作するスマートフォン、タブレット及びPC）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態①においては、QRコードが表示可能な、管理ツールが動作するスマートフォン、タブレット及びPC。以下同じ。）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバとを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態②及び③においては加盟店端末が存在しない。また、出力形態①においては、QRコードが表示可能な、管理ツールが動作するスマートフォン、タブレット及びPC。以下同じ。）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバとを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、
(b)	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Payサーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Payサーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、
(c)	(c) この方法は、	(c) この方法は、
(c-1)	(c-1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報に紐づくURLを取得し、これをPay Payサーバに問い合わせることでPay Payサーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）を受信し、サービス利用者が利用者端末に取引金額を自ら手入力し、利用者端末からPay Payサーバに対して当該取引金額が送信されるようになっており、	(c-1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報に紐づくURLを取得し、これをPay Payサーバに問い合わせることでPay Payサーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）を受信し、サービス利用者が利用者端末に取引金額を自ら手入力し、利用者端末からPay Payサーバに対して当該取引金額が送信されるようになっており、
(c-2)	(c-2) Pay Payサーバは、	(c-2) Pay Payサーバは、
(c-2-1)	(c-2-1) ●（省略）●	(c-2-1) ●（省略）●
(c-2-2)	(c-2-2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断とを行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、	(c-2-2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断とを行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、
(c-2-3)	(c-2-3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額とその取引金額の支払い指示を受信する工程と、	(c-2-3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額を受信する工程と、
(c-2-4)	(c-2-4) 利用者端末から受信した取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、	(c-2-4) 利用者端末から受信した取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、
(c-2-5)	(c-2-5) (c-2-4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う	(c-2-5) (c-2-4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う
(d)	(d) ことを特徴とする支払方法。	(d) ことを特徴とする支払方法。

被告方法（１－２）

構成	原告主張	被告主張
(a)	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Pay アプリ若しくはブラウザが動作するスマートフォン、タブレット及びPC）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態①においては、QRコードが表示可能な、管理ツールが動作するスマートフォン、タブレット及びPC。以下同じ。）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPay Pay 残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Pay サーバを用いて、取引金額に対応するPay Pay 残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Pay アプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態②においては加盟店端末が存在しない。また、出力形態①においては、QRコードが表示可能な、管理ツールが動作するスマートフォン、タブレット及びPC。以下同じ。）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPay Pay 残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Pay サーバを用いて、取引金額に対応するPay Pay 残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、
(b)	(b) Pay Pay サーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Pay サーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、	(b) Pay Pay サーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Pay サーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、
(c)	(c) この方法は	(c) この方法は、
(c-1)	(c-1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報及び取引金額に紐づくURLを取得し、これをPay Pay サーバに問い合わせることでPay Pay サーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）及び取引金額を受信し、	(c-1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報及び取引金額に紐づくURLを取得し、これをPay Pay サーバに問い合わせることでPay Pay サーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）及び取引金額を受信し、
(c-2)	(c-2) Pay Pay サーバは、	(c-2) Pay Pay サーバは、
(c-2-1)	(c-2-1) ●（省略）●	(c-2-1) ●（省略）●
(c-2-2)	(c-2-2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Pay サーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、	(c-2-2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Pay サーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、
(c-2-3)	(c-2-3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額に紐づくURLを受信する工程と、	(c-2-3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額に紐づくURLを受信する工程と、
(c-2-4)	(c-2-4) 取引金額がPay Pay サーバに記憶されている利用者のPay Pay 残高の残額内であるか否かを判断する工程と、	(c-2-4) 取引金額がPay Pay サーバに記憶されている利用者のPay Pay 残高の残額内であるか否かを判断する工程と、
(c-2-5)	(c-2-5) (c-2-4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Pay サーバ内のサービス利用者のPay Pay 残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Pay サーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う	(c-2-5) (c-2-4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Pay サーバ内のサービス利用者のPay Pay 残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Pay サーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う
(d)	(d) ことを特徴とする支払方法。	(d) ことを特徴とする支払方法。

被告方法（1－3）

構成	原告の主張	被告の主張
(a)	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリ若しくはブラウザが動作するスマートフォン、タブレット及びPC）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態①においては動的QRコードが表示可能な端末。以下同じ。）と、利用者端末と通信可能であり、また、加盟店端末と直接又は加盟店のサーバを経由して通信可能である、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバとを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（出力形態②においては加盟店端末が存在しない。また、出力形態①においては動的QRコードが表示可能な端末。以下同じ。）と、利用者端末と通信可能であり、また、加盟店端末と直接又は加盟店のサーバを経由して通信可能である、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバとを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、
(b)	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Payサーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●Pay Payサーバ及び加盟店端末が加盟店情報に紐づくURLを格納するものであり、
(c)	(c) この方法は、	(c) この方法は、
(c－1)	(c－1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報及び取引金額に紐づくURLを取得し、これをPay Payサーバに問い合わせることでPay Payサーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）及び取引金額を受信し、	(c－1) 支払いの際、利用者端末が、加盟店端末に表示されたQRコードを読み取ることで加盟店情報及び取引金額に紐づくURLを取得し、これをPay Payサーバに問い合わせることでPay Payサーバから加盟店の情報（店舗名やロゴ等）及び取引金額を受信し、
(c－2)	(c－2) Pay Payサーバは、	(c－2) Pay Payサーバは、
(c－2－1)	(c－2－1) ●（省略）●	(c－2－1) ●（省略）●
(c－2－2)	(c－2－2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断とを行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、	(c－2－2) ●（省略）●加盟店情報に紐づくURLがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断とを行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、
(c－2－3)	(c－2－3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額に紐づくURLを受信する工程と、	(c－2－3) 利用者端末から、利用者及び加盟店との間の取引金額に紐づくURLを受信する工程と、
(c－2－4)	(c－2－4) 取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、	(c－2－4) 取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、
(c－2－5)	(c－2－5) (c－2－4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う	(c－2－5) (c－2－4)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う
(d)	(d) ことを特徴とする支払方法。	(d) ことを特徴とする支払方法。

被告方法（2-1）

構成	原告の主張	被告の主張
(a)	(a) サービス利用者が有する利用者端末（PayPayアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（PayPay for Businessアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPayPay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPayPayサーバとを用いて、取引金額に対応するPayPay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、	(a) サービス利用者が有する利用者端末（PayPayアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（PayPay for Businessアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、利用者端末及び加盟店端末と通信可能であり、サービス利用者のPayPay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPayPayサーバとを用いて、取引金額に対応するPayPay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、
(b)	(b) PayPayサーバ及び利用者端末は、●（省略）●	(b) PayPayサーバ及び利用者端末は、●（省略）●
(e)	(e) この方法は、	(e) この方法は、
(e-1)	(e-1) 支払いの際、加盟店端末が、利用者端末のPayPayアプリ上に表示されたQRコードを読み取ることでワンタイムコードを取得し、加盟店端末からPayPayサーバに対してワンタイムコード及び加盟店IDが送信されるようになっており、	(e-1) 支払いの際、加盟店端末が、利用者端末のPayPayアプリ上に表示されたQRコードを読み取ることでワンタイムコードを取得し、加盟店端末からPayPayサーバに対してワンタイムコード及び加盟店IDが送信されるようになっており、
(e-2)	(e-2) PayPayサーバは、	(e-2) PayPayサーバは、
(e-2-1)	(e-2-1) 加盟店端末から受信した加盟店IDがPayPayサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断と、加盟店端末から受信したワンタイムコードがPayPayサーバに格納されている利用者の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、	(e-2-1) 加盟店端末から受信した加盟店IDがPayPayサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断と、加盟店端末から受信したワンタイムコードがPayPayサーバに格納されている利用者の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、
(e-2-2)	(e-2-2) 加盟店端末から、利用者 ^と 加盟店との間の取引金額 ^{とその取引金額の受取り指示} を受信する工程と、	(e-2-2) 加盟店端末から、利用者 ^と 加盟店との間の取引金額を受信する工程と、
(e-2-3)	(e-2-3) 加盟店端末から受信した取引金額がPayPayサーバに記憶されている利用者のPayPay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、	(e-2-3) 加盟店端末から受信した取引金額がPayPayサーバに記憶されている利用者のPayPay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、
(e-2-4)	(e-2-4) (e-2-3)の工程において残額内であると判断されると、PayPayサーバ内のサービス利用者のPayPay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、PayPayサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う	(e-2-4) (e-2-3)の工程において残額内であると判断されると、PayPayサーバ内のサービス利用者のPayPay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、PayPayサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う
(d)	(d) ことを特徴とする支払方法。	(d) ことを特徴とする支払方法。

被告方法（2-2）

構成	原告の主張	被告の主張
(a)	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（被告サービスに対応したPOS端末）と、利用者端末と通信可能であり、また、加盟店端末と直接又は中間決済事業者を経由して通信可能である、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、	(a) サービス利用者が有する利用者端末（Pay Payアプリが動作するスマートフォン及びタブレット）と、加盟店が有する加盟店端末（被告サービスに対応したPOS端末）と、利用者端末と通信可能であり、また、加盟店端末と直接又は中間決済事業者を経由して通信可能である、サービス利用者のPay Pay残高と加盟店の売上金額をそれぞれ記憶するPay Payサーバを用いて、取引金額に対応するPay Pay残高を利用者のアカウントから減算し、被告が加盟店に対して一定期間ごとに売上金額を基に算定した精算金（現金）を支払う方法であって、
(b)	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●	(b) Pay Payサーバ及び利用者端末は、●（省略）●
(e)	(e) この方法は、	(e) この方法は、
(e-1)	(e-1) 支払いの際、加盟店端末が、利用者端末のPay Payアプリ上に表示されたバーコードを読み取ることでワンタイムコードを取得し、加盟店端末から直接又は中間決済業者を介してPay Payサーバに対してワンタイムコード及び加盟店IDが送信されるようになっており、	(e-1) 支払いの際、加盟店端末が、利用者端末のPay Payアプリ上に表示されたバーコードを読み取ることでワンタイムコードを取得し、加盟店端末から直接又は中間決済業者を介してPay Payサーバに対してワンタイムコード及び加盟店IDが送信されるようになっており、
(e-2)	(e-2) Pay Payサーバは	(e-2) Pay Payサーバは
(e-2-1)	(e-2-1) 加盟店端末から直接又は中間決済業者を介して受信した加盟店IDがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断と、加盟店端末から受信したワンタイムコードがPay Payサーバに格納されている利用者の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、	(e-2-1) 加盟店端末から直接又は中間決済業者を介して受信した加盟店IDがPay Payサーバに格納されている加盟店の情報と対応しているか否かの判断と、加盟店端末から受信したワンタイムコードがPay Payサーバに格納されている利用者の情報と対応しているか否かの判断を行うことにより、利用者及び加盟店の認証を行う認証工程と、
(e-2-2)	(e-2-2) 加盟店端末から、利用者と加盟店との間の取引金額とその取引金額の受取り指示を受信する工程と、	(e-2-2) 加盟店端末から、利用者と加盟店との間の取引金額を受信する工程と、
(e-2-3)	(e-2-3) 加盟店端末から受信した取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、	(e-2-3) 加盟店端末から受信した取引金額がPay Payサーバに記憶されている利用者のPay Pay残高の残額内であるか否かを判断する工程と、
(e-2-4)	(e-2-4) (e-2-3)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う	(e-2-4) (e-2-3)の工程において残額内であると判断されると、Pay Payサーバ内のサービス利用者のPay Pay残高の残額を取引金額の分だけ減算すると共に、Pay Payサーバ内の売上金額を取引金額の分だけ増額する工程とを行う
(d)	(d) ことを特徴とする支払方法。	(d) ことを特徴とする支払方法。